

自己実現 自主自立 本物の笑顔のために

東の風



平戸市立田平東小学校
学校便り
No.4

やさしく
かしこく
たくましく

平成29年4月12日(水)
文責：園田

学校教育目標：心豊かに自ら学びたくましく生きる子どもの育成

入学式後の1年生。東っ子らしく張り切っています!

初めての徒歩登校



4月11日(火)、前日に入学した1年生が自分の足で、登校する初めての日。あいにくの雨模様でしたが、長靴をはき、自分のお兄さん・お姉さんや近所の上級生と一緒に登校するほのぼのとした姿が見られました。

入学から6年間、卒業の日まで「登校」は続きます。

一年間の登校日数は、約200日。朝夕2回で6年間。

2回×200日×6年=2400回程の登下校となります。

2400回という数字。これはとても大きな意味を持つ数字です。



本校の登下校の基本、原則は『徒歩での登校』。(本校にはバス通学が認められるほど遠距離の児童はいません。)

「登校・下校」という一つの行動の中でも、「自立」という目的をもち、その目的に向かって毎日継続する事により自分の心や体を鍛え、様々な課題への対応能力や適応能力を高め、そして感性を磨くことができます。

2400回。その数の重さ、日々の積み重ねの重さや大切さは、6年後に子どもの姿となり明確に表れます。

交通安全指導には力を入れていきますが、「自分の命は自分で守る」が基本です。交通ルールを守りながら、自分の足で、しっかりと登校してくれることを願っています。登校の一步は、自立への第一歩、スタートです。

お母さんと一緒に!

お姉ちゃんや友達と一緒に!

一人で頑張りました!



上の写真は12日(水)の朝の登校風景です。入学前にも通学路を子どもさんと一緒に歩いてみた方もいらっしゃると思いますが、実際に他の子ども達も通う中で一緒に登校してみると、また違った気づきがあるかと思えます。一緒に歩きながら、現場で「ここは危ないよ。」「ここは気をつけようね」と、安全な登校の仕方について子どもさんと確認されることは親子双方にとって、とても大切な事だと思えます。

子ども自身にとって大事なものは、経験の中で、「自分で考え、判断し、行動できる力」を確実に身に付けていくこと」です。決して安易に甘やかすことではありません。

親子で安全を確かめながら一緒に登校する姿。我が子の安全や健やかな成長を思う親心が伝わってくるような、それはとても素敵な光景に思えました。

お兄さんやお姉さんと一緒に登校する子、一人でもしっかり頑張る子。今朝の天気のように爽やかな朝でした。

お話、上手に聴けているようです。



1年生の教室をちょっと覗いてみました。緊張感の中、どの子もしっかり頑張っています。まずは「集中し目と耳と心で聴くこと。」そこから、様々な学びがスタートします。

